



第 329 回 KFR セミナー

基礎講座：船舶操縦性の基礎と実践

第 329 回 KFR 例会では、船舶操縦性能の基礎講座を開催いたします。エネルギー効率設計指標(EEDI)規制による船舶の推進効率向上に伴い、船舶の主機関出力は小さくなる傾向ですが、その結果懸念される荒天下における船舶の操縦性を維持するため、下限の推進出力を規制する暫定ガイドラインが採択されています。KFR では今年度の例会でこの最低主機出力に関するセミナーを予定しておりますが、これに先立ち船舶操縦性の基礎をしっかりと学ぶ機会を設けることで、その理解の一助になればと考えております。普段から操縦性に携わっておられる方々に加えて、これまで操縦性を本格的に学んだことがない学生/技術者の皆様にも積極的にご参加いただき、自由活発に意見交換の出来る場にしたと考えております。多数のご参加をお待ちしております。

- 記 -

第 329 回 KFR セミナー

- 日時：2015年5月15日（金） 13:30～17:30
- 会場：新大阪丸ビル・新館 809号室 大阪市東淀川区東中島1-18-5
<http://www.japan-life.co.jp/jp/buil/sinkan/map.html>
- 参加費：無料，要事前登録

- ・ 船舶の操縦性能推定と評価に関する基礎知識

古川 芳孝 (九州大学)

シミュレーション計算により船舶の操縦運動を推定する際に用いられる操縦運動方程式の導出、また船舶の各部に作用する干渉力を含んだ流体力の表現を目的として開発された各種流体力の数学モデルの概要、さらにIMO操縦性基準において定められた船舶の操縦性能の評価指標に関する基礎的な事項等について、簡単に説明します。

- ・ 造船会社における船舶操縦性設計について

山崎 啓市 (ジャパン マリンユナイテッド(株))

造船所における操縦性能設計技術は、1993年に採択されたIMO操縦性暫定基準A.751(18)によって厳しい条件が課せられ、それに対処するため飛躍的な進歩を遂げた。本講演では、この時開発され今もなお使用される技術を中心にしながら、造船会社における操縦性設計について実例を交えて概説する。また、本分野における直近の課題である波浪中操縦運動の実例を示し、今後の課題検討の一助とする。



ご参加のお申し込みは、5月8日（金）までに下記連絡先までお願い致します。

セミナー終了後、懇親会（17:30～19:30、場所：会場周辺、会費：¥3,000～3,500程度を想定）も予定しています。こちらにもぜひご参加ください。お手数ですが、懇親会への参加希望についても合わせて御連絡頂ければと思います。

連絡先：関西船舶海洋流体力学研究会（KFR）事務局
福井 洋（ジャパン マリンユナイテッド株）
TEL：059-238-6407 FAX：059-238-6442
E-mail：fukui-yo@jmuc.co.jp

会場までのアクセス

JR新大阪駅東口より 徒歩2分

地下鉄御堂筋線新大阪駅 番出口より 徒歩8分



以上